

守りたい贈るころ「福を呼ぶ帛紗^{ふくさ}（二）」展

川島織物文化館 2021年4月26日(月)～10月29日(金)



紋織 縺子地 帛紗裂「鳳凰」

株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：木村弘一）は、本社に併設の川島織物文化館（京都市左京区）で開催中の、掛帛紗の図案や裂の数々を紹介する福を呼ぶ帛紗（ふくさ）（一）の全展示作品を入れ替えた「福を呼ぶ帛紗（二）」を、4月26日（月）より開催します。

贈り物やご挨拶の品を持参する際に用いられてきた帛紗（ふくさ）も、近年は目にする機会も少なくなってきましたが、全盛期には多彩なモチーフが用いられ様々な色柄の帛紗が使われていました。現在はあまり目にする事のないパターンや雰囲気のものもあり、デザインとしても興味深い帛紗が多くあります。初代・二代川島甚兵衛が研究のために収集したもの、大正御大典記念帛紗、また贈り手の思いが感じられるものなど、福を呼ぶ帛紗（一）展とはことなつた趣の作品を展示・公開します。帛紗にこめられた贈るころをご覧ください。

開催概要

タイトル：守りたい贈るころ 福を呼ぶ帛紗（二）

会期：2021年4月26日（月）～10月29日（金）

場所：川島織物文化館

（京都市左京区静海市原町 265）

休館日：土・日・祝祭日、夏期、年末年始、

川島織物セルコン休業日

入館料：無料

※ ご見学は完全事前予約制です。

※ 新型コロナウイルス感染防止のための対策を講じた上で、運営をしています。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

詳細は ホームページ をご確認ください。

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>



KAWASHIMA
SELKON

■ 主な展示作品



上段左：縹子地 刺繍 帛紗「若松」

上段右：唐織 帛紗「扇面草花」

下段左：大正御大典記念 綴織 帛紗 原画「蛇籠と菊花」(8号御料車画)

下段右：大正御大典記念 紋織 帛紗「五彩瑞雲」

■川島織物文化館 概要■

1889（明治 22）年に二代川島甚兵衛が京都・三条高倉に建てた三階建ての洋館「織物参考館」に始まる国内最古の企業博物館。初代・二代 川島甚兵衛がモノづくりの研究のため世界中から収集した染織品、古書類、製作してきた原画類・試織など、織物に関する貴重な資料を保管しています。

館内では、これらの史資料や当社が手がけてきたプロジェクトにまつわる資料やエピソードを紹介し、織物の魅力や当社のこだわりのモノづくりを紹介しています。



所在地：〒601-1192

京都市左京区静海市原町 265

株式会社川島織物セルコン内

TEL：075-741-4120

開館時間：午前 10 時～午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで）

休館日：土、日、祝祭日、夏期・年末年始（川島織物セルコン休業日）

入館料：無料

見学予約：見学は事前予約制

見学希望日の前日 16 時までに電話でお申込み下さい。

（※月曜日ご来館希望の場合は前週金曜日）

ご予約専用 TEL：075-741-4323

ホームページ：<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

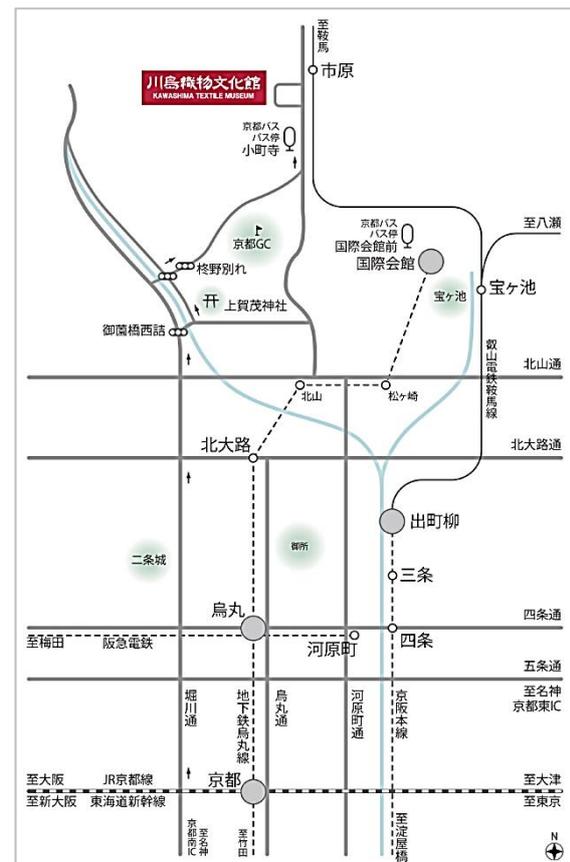
アクセス：●地下鉄「国際会館」駅より

・京都バス（50/52 系統）「小町寺」下車 徒歩約 5 分

・タクシー 約 10 分

●叡山電車 鞍馬線「市原」駅下車 徒歩約 7 分

●京都駅より タクシーで約 40 分



■川島織物文化館の運営について

川島織物文化館は、新型コロナウイルス感染防止のため、手洗い・うがい・マスク着用の徹底、咳エチケットの実施などの対策を講じた上で、運営をしています。ご不便をおかけいたしますが、ご来館のお客様にもご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。